

癌化学療法プロトコール

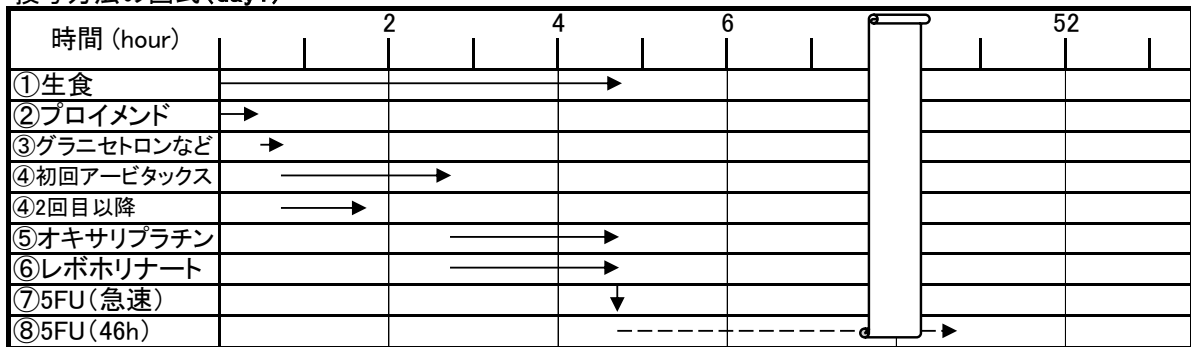
氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **mFOLFOX6+Cetuximab**
 対象疾患 大腸がん
 診療科 外科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ用
② プロイメンド	150mg/V(1V)		生食100mL	30分かけて点滴
③	デキサート	6.6mg/2mL(2A)	混注	15分かけて
	ポララミン	5mg/1mL(1A)		
	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		
④ アービタックス	初回400mg/m ²		生食500mL	2時間かけて点滴(総量500mL)
	2回目以降250mg/m ²		生食250mL	1時間かけて点滴(総量250mL)
⑤ オキサリプラチン	85mg/m ²		5%糖液250mL	2時間かけて点滴
⑥ レボホリナート	200mg/m ²		5%糖液250mL	2時間かけて点滴
⑦ 5FU(急速)	400mg/m ²		生食20mL	2分で急速静注
⑧ 5FU(46h)	2400mg/m ²		生食	46時間持続静注
day8				
① 生食	250mL			血管確保とフラッシュ用
②	デキサート	6.6mg/2mL(2A)	生食50mL	15分かけて
	ポララミン	5mg/1mL(1A)		
③ アービタックス	250mg/m ²		生食250mL	1時間かけて点滴(総量250mL)

2 投与方法の図式(day1)



3 投与スケジュール

1クール14日間。

4 特記事項

- ・ アービタックス投与終了1時間後まで血管確保の生食は継続し、経過観察。
- ・ 携帯型ディスポーザブル注入ポンプの調製は換算表を用いて生食の充填量を計算する。